

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

# 直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和元年度 第8号  
令和2年1月15日発行  
<発行・編集>  
直東学園 事務局  
〒942-0041  
新潟県上越市安江 282-1  
(上越市立直江津東中学校内)  
TEL: 025-543-2729  
FAX: 025-543-4150  
E-mail: higashi-cs@jorne.or.jp

## 生徒指導特集

直東学園5校は、小中学生のよりよい人間関係づくりや、規律ある学校づくりを実現するために、以下の3点について共通理解を図りながら具体的な取組を進めています。

### 1 リーダーシップ・フォロワーシップの育成

各学校とも、全校遠足や運動会（体育祭）などの行事や、児童会（生徒会）活動、清掃活動などを中心に、同学年だけでなく異学年でかかわり合う場面を意図的に設定し、リーダーシップやフォロワーシップの育成に努めています。

### 2 小中5校の一層の連携と切れ目のない指導

生徒指導担当教員が集まる生徒指導推進委員会を定期的を開催しながら、子どもの現状や課題を情報共有し、各学校における学年・学級経営の改善に生かしています。また、「直江津東中学校区生活のきまり」も常に見直しを図りながら、児童生徒を取り巻く環境や実態に合うようにしています。学校間の指導のギャップを無くすとともに、中学校へのスムーズな移行に役立てるようにしています。

### 3 「いじめ見逃しゼロスクール集会」の充実

11月18日（月）に、小6中1の児童生徒が一堂に会し、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。集会を通して、一人一人が「いじめを絶対にしない、見逃さない」という意識を高め、実践につなげていくことをねらいとした集会です。

当日は共通のアンケート調査の結果に基づき、いじめ問題に対する課題を明らかにした「自校のアクションプラン」を発表し合いました。また、後半は、県の生徒指導課が主管する「いじめ見逃しゼロキャラバン」により、南魚沼市出身のシンガーソングライター「TSUNE I」さんのお話をお聞きしました。いじめにかかわるご自身の経験談、自分の未来に向けて大事なこと（いじめられて辛いときはそこから逃げていいよ。その世界がすべてじゃないよ。本気でやれば、応援してくれる人が必ずいるよ。等）についてのお話に、時間がたつのを忘れるほど引き込まれていきました。その後、TSUNE Iさんも交えて感想等を交流し合い、和やかな雰囲気の中、集会を終了しました。



【グループごとにアイスブレイク】



【TSUNE Iさんとも交流】



## 北諏訪小学校の取組



### 笑顔を増やそう“きずな集会”

「友達へのそのいじり大丈夫？」  
「友達のSOSに気付くにはどうしたらいいのかな？」

今年のテーマは「いじり」と「友達のSOS」です。「いじり」は許されるのか？「友達のSOS」にどう気付き対応すればよいのかを考えました。全校児童が4つのプロジェクト（絆五七五の紹介、看板発表、全校合唱、いじめ撲滅宣言劇）に分かれテーマに向けて取り組みました。集会の後半には、妙高アドベンチャーの講師「金巻智子」先生（以下、金ちゃん）によるアドベンチャープログラムを親子で体験しました。

劇では、日常にありがちな友達へのいじりやからかいの場面から「そのいじりは大丈夫か」を全校のみんなで考えました。言われた友達が許していれば「いじり」は許されるのか？周りのみんなが楽しければよいのか？真剣に考える姿が見られました。結果「許されるいじりは存在しない」「いじりは友達を傷つける行為」だということを共有することができました。

金ちゃんのプログラムでは、縦割り班ごとに手をつなぎ、1列になって大縄をくぐるゲームをしました。お家の方も一緒に参加しました。何度も失敗を重ね、遂に全校のみんなで大縄を通過したときには、喜びの拍手が起こりました。「手と手をつなぐ」「助け合う」「全校で達成する」喜びをみんなで味わいました。友達や家族との仲を考え直し、笑顔あふれる会になりました。



【全校合唱「絆」】



【劇といじめ撲滅宣言】



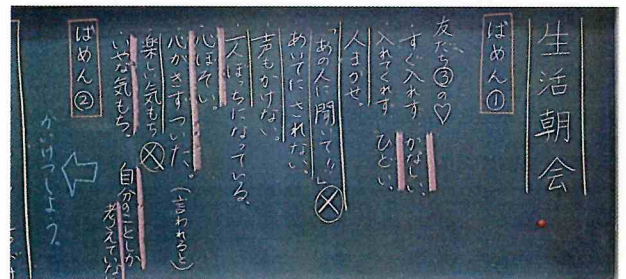
【金ちゃんと大縄くぐりゲーム】

## 保倉小学校の取組



### 全校SSE「温かいメッセージ・冷たいメッセージ」

全校SSEで、ほくら劇団（職員）による劇を見て友達とのかかわりについて考えました。「遊びに入れて」と言う友達に「分かんない。あの人に聞いて」と言うのは、相手にどう伝わるのか考えて意見交流し、「曖昧な言い方は、相手を傷つける」ということが分かりました。何気ない態度も、「冷たいメッセージ」として伝わるのが分かり、相手を大切にする言動を学びました。



【ほくら劇団による劇を見た後の話し合い】

### 自分たちの問題を自分たちで解決する全校集会

子どもたちは、学校生活で様々なトラブルにあいますが、自分たちの問題を自分たちで解決する力を育てたいと思います。今年、高学年の発案で、遊びのルールを守り方や相手への思いやりある接し方について、ドッジボールの劇を通して、全校で考えることができました。



【ドッジボールの劇】

### 地域の人とのかかわりを深め、自己有用感をはぐくんだ「ほくら元気祭」

11月29日（金）は、「ほくら元気祭」でした。これは、保倉地域を元気にしようと、6年生が企画・準備したイベントです。全校に呼びかけて各学級で工夫したお店を出しました。お化け屋敷・占い・的あて等々、楽しいお店ばかりが並びました。自分たちの力でたくさんの地域の人を笑顔にすることができて「役に立つ自分」を感じ、充実した時間になりました。



【的あて屋さん】





## ありペン・たーペン心の時間～全校ソーシャルスキル学習～

「ほめる」「感謝する」「励ます」「心配する」など、自分が言ってもらえたら嬉しいと思う言葉をかけるスキルについて学習しました。「あたたかい言葉」をかけることで、いろいろな人と気持ちよく過ごせることに気づかせたいというねらいがあります。

### 全校ソーシャルスキル学習・ふわふわ言葉

職員が「あたたかい言葉」についての劇をしました。その後、よかったことや感じたことについて、児童にインタビューしました。児童は、あたたかい言葉は言われた人だけでなく、周りで聴いている人もあたたかい気持ちになることを実感していました。

### 学年ソーシャルスキル学習

全校での学習の後、発達段階や実態に合わせて、学年でも学習に取り組みました。遊びを通して、あたたかい言葉を使う場面を体感したり、応援や励ましの言葉について話し合いをしたりしました。

### 縦割り班遊び

あたたかい言葉をかける実践の場面として、縦割り班（1～6年生まで混合班）での遊びの時間を設定しました。班の全員が仲よく楽しく遊べて、あたたかい言葉がけができるように、事前に遊びの計画を立てました。当日は、外遊びをすることもでき、鬼ごっこや室内遊びなど仲良く過ごす様子が見られました。



【職員による劇の様子】



【縦割り班での遊びの様子】

## 春日新田小学校の取組



11月をいじめ見逃しゼロ強調月間とし、いじめや人権について考えたり学習をしたりしました。また、ふじの実キッズでは、なかよし班の学級を回って活動し、交流を深めました。

### 校内いじめ見逃しゼロスクール集会

6月の集会から半年。いじめについて確認し、これまでどんなことに取り組んできたかを振り返りました。集会では、6年生から発表してもらいました。自分たちの課題を見付け、それを解決するための具体的な取組。さらに振り返りをする中で、今後の課題を見付けていく。すでに中学校に向けての準備を始めている6年生。下学年の子どもたちも真剣に聞いていました。

### ゲストティーチャーを招いての人権教育、同和教育

5年生は水俣病について、6年生は部落問題について、それぞれゲストティーチャーを招いて学習しました。実際にお話を聞くことで、差別の現実を学ぶとともに、差別やいじめを許さない気持ちを新たにすることができました。

### なかよし班で楽しむ「ふじの実キッズ」

各学級で工夫した様々なアトラクションが行われました。なかよし班メンバーの学級に行き、上学年と下学年とで仲良く活動することができました。保護者や地域の方も来られ、楽しいひと時を過ごしました。



【集会での6年生の発表】



【ゲストティーチャーとの学習】



【一緒に楽しむ1年生と6年生】





今年度の生徒会スローガン『開花～咲き誇れ 我らの夢～』の実現に向けて様々な取組を行っています。特に、11月の一ヶ月間は「いじめ見逃しゼロ強調月間」に各専門委員会が様々な活動を展開しました。「ありがとう」「すごいねえ」「がんばれ」「うれしい」など、学校中に前向きな温かい言葉が溢れ、生徒の“笑顔”が満開です。

委員会	企画名
総務	いじめを許さない絵本の読み聞かせ
応援	冬でも応援(放送による呼びかけ活動)
保健	保健室からふわふわ言葉を広げよう!
図書	心あったまるほっこり本紹介
環境	教室をピカピカにして、心もピカピカコンテスト
音楽	心あったかソングアンケート
国際理解	ALT Action
ボランティア	赤い羽根共同募金

国際理解委員会は「ALT Action」を行いました。2人のALTの先生方から昼の放送で以下の内容のお話しをいただきました。以下はDominic(ドミニク先生)のスピーチの内容です。

Bullying is a big problem in Australia, and can cause serious and long term emotional and psychological consequences to the people affected.

(中略)

Every year in March, Australian's have a special anti-bullying day. Next year, it will be held on March 20th. On this day, people wear pink T-shirts to show their support to stop bullying. It is important that people are able to feel safe, whether its at home, at school or at work. Please look out for people who may be experiencing bullying, and tell an adult or a teacher that you trust. Importantly, please be kind to everyone. It can make a huge difference to someone who is struggling. Thank you

大切なことは、家であろうが学校であろうが職場であろうが全員が安心安全を確保することです。どうかいじめを受けている人を見つけ、信頼する大人に知らせてください。そして、何よりも大切なことは、あなたの周りにいる人全員に対して親切になることです。そうすることで、いじめを受けている人にとって多大な勇気を与えるのです。ありがとうございました。



## 今年度も教育ハンドブック編集会議を開催しました。

12月11日(水)、各学校のPTA会長さんからご推薦いただいた5人の保護者の方と「直東学園教育ハンドブック」の編集会議を行いました。教育ハンドブックは、小学校に入学予定の保護者向けに毎年発行し、各小学校の入学説明会での資料の一つとしています。編集会議では、保護者の方が活用しやすいように、保護者目線での意見をお願いしました。それを編集に役立て、作成します。

### 本誌の内容

- 1 地域に生きる子どもたちのために
- 2 小学校卒業までに身に付けたい7つの習慣
- 3 具体的な日常のルール(地域で 学校で)
- 4 学習の約束十か条 ノーテレビ・ノーゲームデー
- 5 直江津東中学校区生活のきまり
- 6 就学前のお子さんのはじめての  
社会生活をサポートします!
- 7 地域と子どもたちの安心安全を守ります!
- 8 地域が子どもたちの学習を応援します!
- 9 学校生活に欠かせない体操着やシューズ  
販売店の紹介・位置情報
- 10 校時表

【昨年度の  
新入学生説明会の様子】

